

2012年度(2013年3月期) 第2四半期決算説明会



2012年10月31日

大正製薬ホールディングス株式会社
常務取締役 酒井 明人



2012年度第2四半期決算：概要

(億円)

	2011年度 2Q累計	2012年度 2Q累計	前年同期比 増減		予想比
売上高	1,332	1,400	+68	+5.1%	+10
セルフメディケーション	842	872	+30	+3.6%	▲7
医薬	490	528	+37	+7.6%	+17
営業利益	203	195	▲8	▲3.7%	+25
経常利益	235	237	+2	+0.9%	+37
四半期純利益	128	127	▲1	▲1.0%	▲8

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



2012年度第2四半期の概況(1)

• セルフメディケーション事業(大正製薬 国内)

– 主要ブランドの実績:

- リポビタミンシリーズ: 8、9月の暑さはあったものの、リポビタミンD単体のマイナスが影響し、意欲的な計画に未達
- パブロンシリーズ: 計画並み、総合感冒薬が好調
- リアップシリーズ: X5は微増だが、1%製剤のマイナスで計画未達
- リビタシリーズ: 新製品の寄与で計画を上回る

<ご参考: 市場の状況>

– OTC医薬品市場

2012年度2Q(4~9月): 前年同期比▲2.7%

(インテージSDIデータ、金額ベース)



2012年度第2四半期 主要ブランド売上高

(億円)

	2012年度 2Q累計	前年同期比 増減		予想比
リポビタンシリーズ	382	▲9	▲2.3%	▲17
パブロンシリーズ	103	+2	+2.1%	+1
リアップシリーズ	68	▲3	▲3.8%	▲1
胃腸薬シリーズ	21	+1	+3.9%	▲0
ナロンシリーズ	21	+1	+3.3%	▲1
リビタシリーズ	25	+6	+31.2%	+3
コーラックシリーズ	18	▲1	▲5.4%	▲2

注:金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



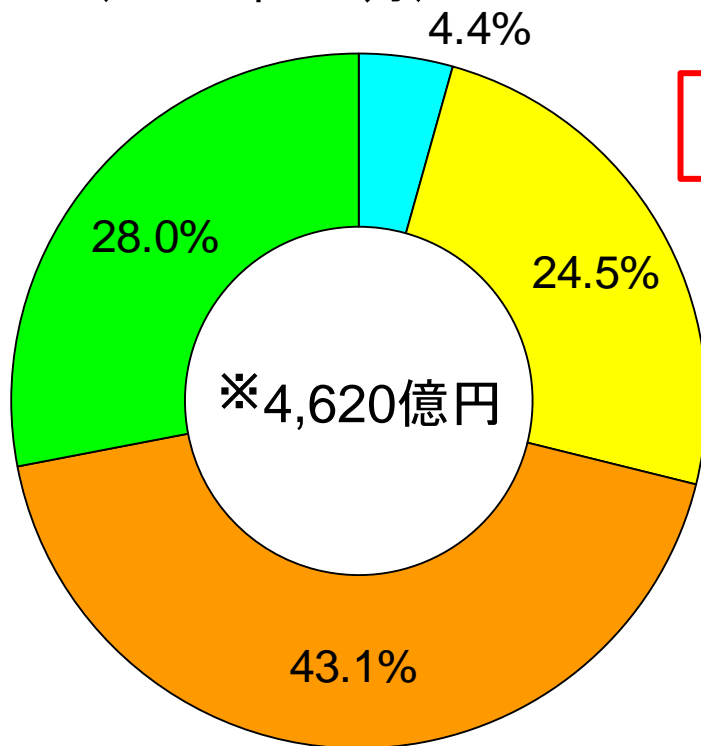
OTC医薬品分類別構成比

国内OTC医薬品市場における構成比 ※ 分類不明分は除く

第1類の
前年比
96%

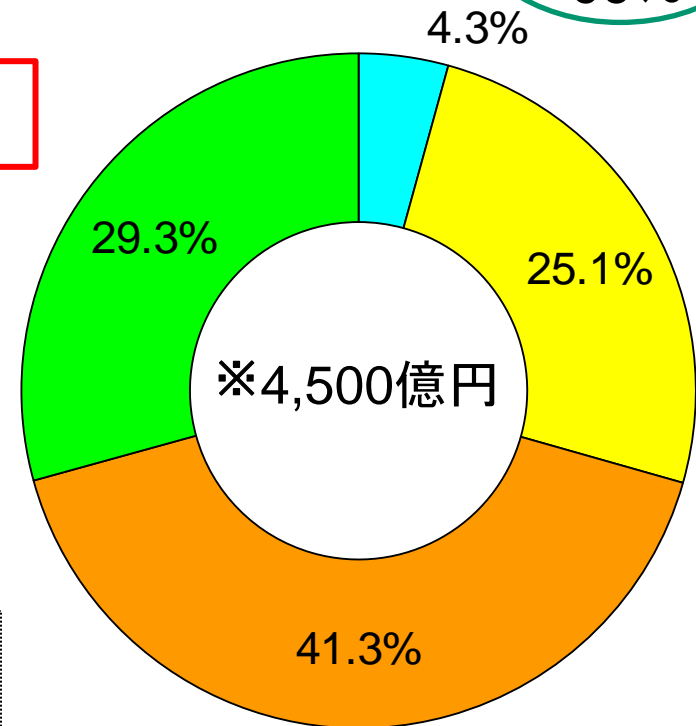
(2011年4-9月)

(2012年4-9月)



部外品を除く

前年比
97%



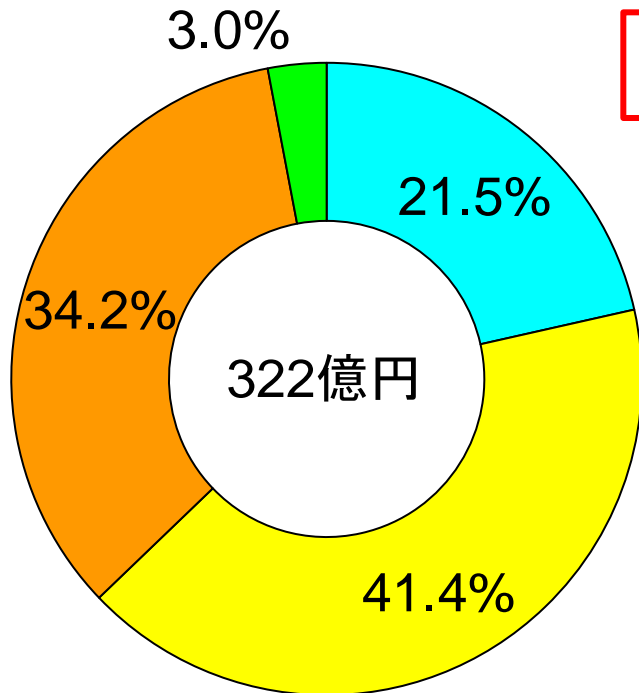
- 第1類
- 指定第2類
- 第2類
- 第3類

(インテージSDIデータ2012年10月時点、金額ベース、各年4-9月累計)



当社のOTC医薬品分類別売上構成比

2011年4-9月

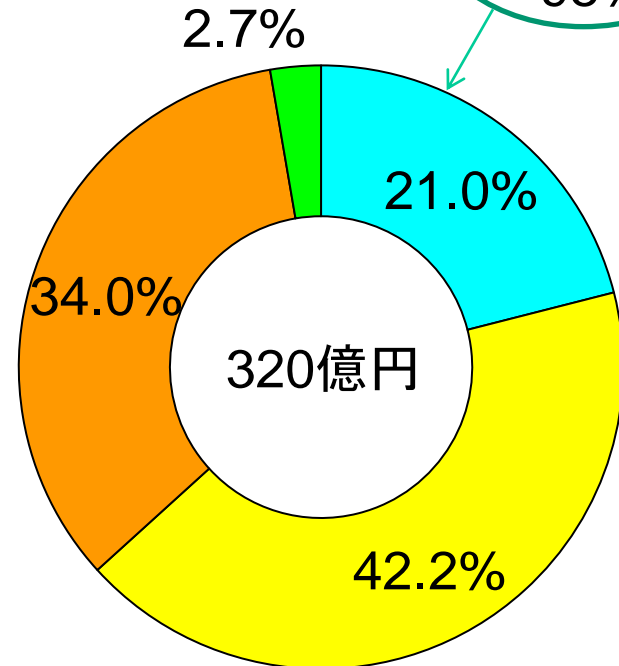


部外品を除く

前年比
99.5%



2012年4-9月





2012年度第2四半期の概況(2)

• 海外OTC医薬品事業

(億円)

	2011年度 2Q	2012年度 2Q	前年同期比 増減
海外OTC医薬品	29	43	+15
BMS社からの買収分	27	29	+2
Hoe社	-	13	+13
CICSA社等4社	-	-	-
その他	2	2	+0

注:金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

-BMS社からの買収分:

タイ、インドネシアを中心に、計画に対し順調に推移

-Hoe社分:当期から通期で寄与



2012年度第2四半期の概況(3)

• 医薬事業

– 大正富山医薬品:

- 売上高:466億円(前年同期比8.0%増)

– 感染症領域:

ゾシン、オゼックスが引き続き好調

クラリスは計画通りに推移

大正富山医薬品の抗菌薬市場*シェア:19%

(*J01抗菌薬市場)

– 炎症・免疫領域:

エディロールが長期処方解禁で伸長

<ご参考:市場の状況>

– 医療用医薬品市場:前年同期比+0.1%

- 当社の主力市場である抗菌薬市場は▲5.8%

(経口:▲4.7%、注射:▲7.3%)

(Copyright 2012 IMS ジャパン(株)、JPM2011年・2012年(4-9月)をもとに作成、無断転載禁止)

大正富山医薬品：2012年度第2四半期 主要製品売上高



(億円)

	2012年度 2Q累計	前年同期比 増減		予想比
クラリス	78	▲10	▲11.6%	0
ゾシン	102	+18	+21.2%	+7
パルクス	43	▲5	▲9.5%	▲1
オゼックス	35	+14	+67.1%	▲2
ジェニナック	26	+2	+6.8%	+2
ロルカム	16	▲1	▲8.0%	0
エディロール	35	+28	+363.0%	+2

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



2012年度2Q：売上高・利益の増減要因

(前年同期比増減額)

売上高 (+68億円)	セルフメディケーション事業 (+30億円)	医薬事業 (+37億円)
営業利益 (▲8億円)	売上総利益* +25億円 (売上総利益率* 前年同期63.8%→当期62.5%)	
	販管費 +33億円 (内訳)	
	・研究開発費	+1億円
	・販売促進費	+3億円
	・広告宣伝費	+4億円
	・人件費	+12億円
	営業外損益:持分法投資利益 6億円(前期 40百万円)	
特別損益:投資有価証券評価損 22億円		

*返品調整引当金繰入・戻入調整後

注:金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

2012年度：通期業績予想



(億円)

	通期予 (新)	前期比増減		通期予 (旧)	予想 修正額
売上高	2,870	+158	+5.8%	2,850	+20
セルフメディケーション	1,763	+98	+5.9%	1,772	▲9
医薬	1,107	+59	+5.7%	1,078	+29
営業利益	365	▲19	▲5.0%	375	▲10
経常利益	445	▲17	▲3.7%	445	0
当期純利益	265	+21	+8.8%	290	▲25
EPS(円)	327.48	-	-	358.37	-
(参考)					
大正富山医薬品売上高	970	+39	+4.2%	950	+20

予=予想

注:金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



2012年度：売上高予想

- セルフメディケーション事業

- 大正製薬(国内)の売上高予想: 下方修正(▲7億円)

- リポビタンシリーズ ▲20億円
 - リアップシリーズ +4億円
 - リビタシリーズ +5億円

- 海外: 為替(円高)の影響で引き下げ

- 医薬事業

- 大正富山医薬品の売上高予想: 上方修正(+20億円)

- 中間製品等売上高予想: 上方修正(+9億円)

(億円)

	2012年度 旧予想	2012年度 新予想	対従来予想比	主な内訳
売上高	2,850	2,870	+20	
SM	1,772	1,763	▲9	大正国内SM ▲7 海外 ▲6
医薬	1,078	1,107	+29	大正富山 +20 中間製品等 +9

注: 金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

2012年度：主要ブランド・製品売上高予想



(億円)

	2012年度 新予想	前期比増減		2012年度 従来予想
リポビタンシリーズ	690	▲3	▲0.4%	710
パブロンシリーズ	260	+3	+1.0%	260
リアップシリーズ	148	+7	+4.6%	145
胃腸薬シリーズ	44	+1	+1.7%	44
ナロンシリーズ	42	+1	+2.2%	43
リビタシリーズ	50	+9	+22.8%	45
コーラックシリーズ	40	+1	+3.7%	41
クラリス	195	▲21	▲9.5%	195
ゾシン	210	+34	+19.4%	190
パルクス	88	▲6	▲5.9%	88
オゼックス	75	+14	+22.2%	70
ジェニナック	61	▲0	▲0.1%	61
エディロール	70	+52	+281.7%	65

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

2012年度通期：海外OTC医薬品事業



(億円)

	2011年度 実績	2012年度 従来予想	2012年度 新予想	前期比 増減
海外OTC医薬品	62	103	100	+38
BMS社からの買収分	49	55	54	+4
Hoe社	10	30	29	+19
CICSA社等4社	-	10	10	+10
その他	3	8	7	+4

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

- BMS社からの買収分：計画に対し順調に推移
- Hoe社の業績：今年度から通期で寄与
- メキシコ製薬企業グループ（CICSA社等4社）分を追加
- 円高の影響を新予想に反映



2012年度予想：売上高・利益の増減要因

(前期比増減額)

売上高 (+158億円)	セルフメディケーション事業 (+98億円)	医薬事業 (+59億円)
営業利益 (▲19億円)	売上総利益* +68億円 (売上総利益率* 前年同期63.5%→当期62.4%)	
	販管費 +87億円	
	(内訳)	
	・研究開発費	+10億円
	・販売促進費	+11億円
	・広告宣伝費	+14億円
	・人件費	+24億円
営業外損益：持分法投資利益 10億円(前期実績 12億円)		

*返品調整引当金繰入・戻入調整後
金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



セルフメディケーション事業：新製品

2012年度下期～2013年度：
期待の新製品を数品目予定

<上期>

ファットケア スティックカフェ

ミドルケア 粉末スティック

リポビタミンDキッズ

など

<下期の予定>

リアップジェット(12月発売予定)

リポビタミンシリーズ

コーラックシリーズ

ナロンシリーズ

など

赤文字：発表・発売済みの製品



新製品のご紹介

・リアップジェット

(12月3日発売予定)

– 新剤型の1%製剤

容器の先端を頭皮に押しあてる

「ジェット噴射タイプ」

(すっきりと爽快な心地良い使用感)

– 発毛成分ミノキシジルと

頭皮環境を整える3つの有効成分*を配合

– 初年度売上目標(発売から1年間):10億円

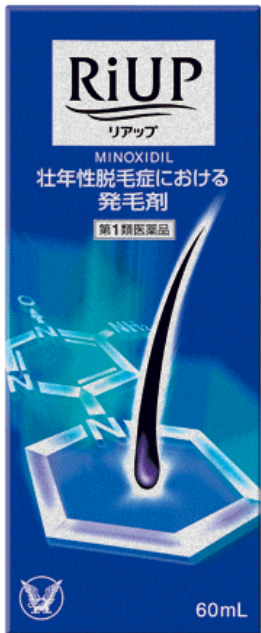


*パントテニールエチルエーテル、トコフェロール酢酸エステル、トメントール

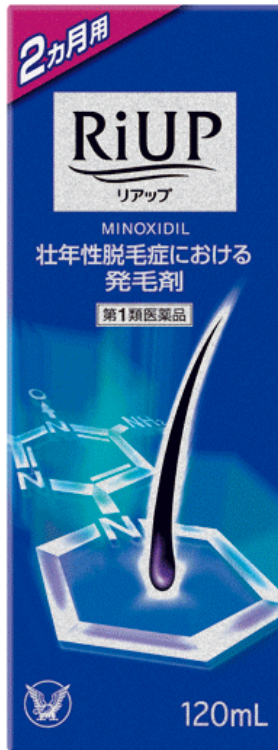


リアップシリーズ

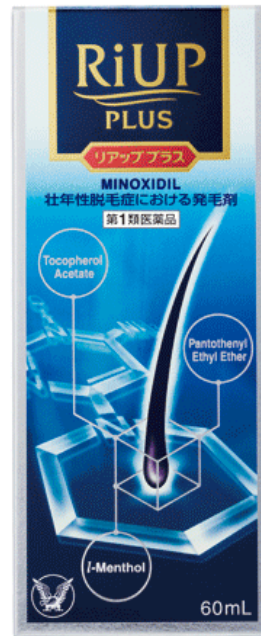
新製品



リアップ60mL



リアップ120mL



リアッププラス



リアップジェット



リアップX5



リアップリジェンヌ



医療用医薬品：新薬パイプライン(1)

【変更点】 クラリス錠200(適応追加)：公知申請
CT-064(経口)：フェーズ3に移行

大正製薬開発品：国内

(2012年10月31日現在)

	特長他 予定適応症	開発形態	オリジン
申請中			
CT-064* (注射)	<u>ビスフォスフォネート系骨吸収抑制剤</u> 骨粗鬆症	中外製薬共同	ロシュ
クラリス錠 200(経口)	プロトンポンプ阻害薬及びアモキシシリン 水和物を用いた3剤併用による ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎(適応追加)	アボット ジャパン 他 (9社共同)	大正製薬
フェーズ3			
TS-071** (経口)	<u>SGLT2阻害作用</u> 1型糖尿病、2型糖尿病	自社	大正製薬
CT-064* (経口)	<u>ビスフォスフォネート系骨吸収抑制剤</u> 骨粗鬆症	中外製薬共同	ロシュ

*CT-064：一般名：イバンドロン酸ナトリウム水和物、中外製薬における開発コードはRG484

**TS-071：一般名：ルセオグリフロジン



医療用医薬品：新薬パイプライン(2)

大正製薬開発品：国内(続き)

(2012年10月31日現在)

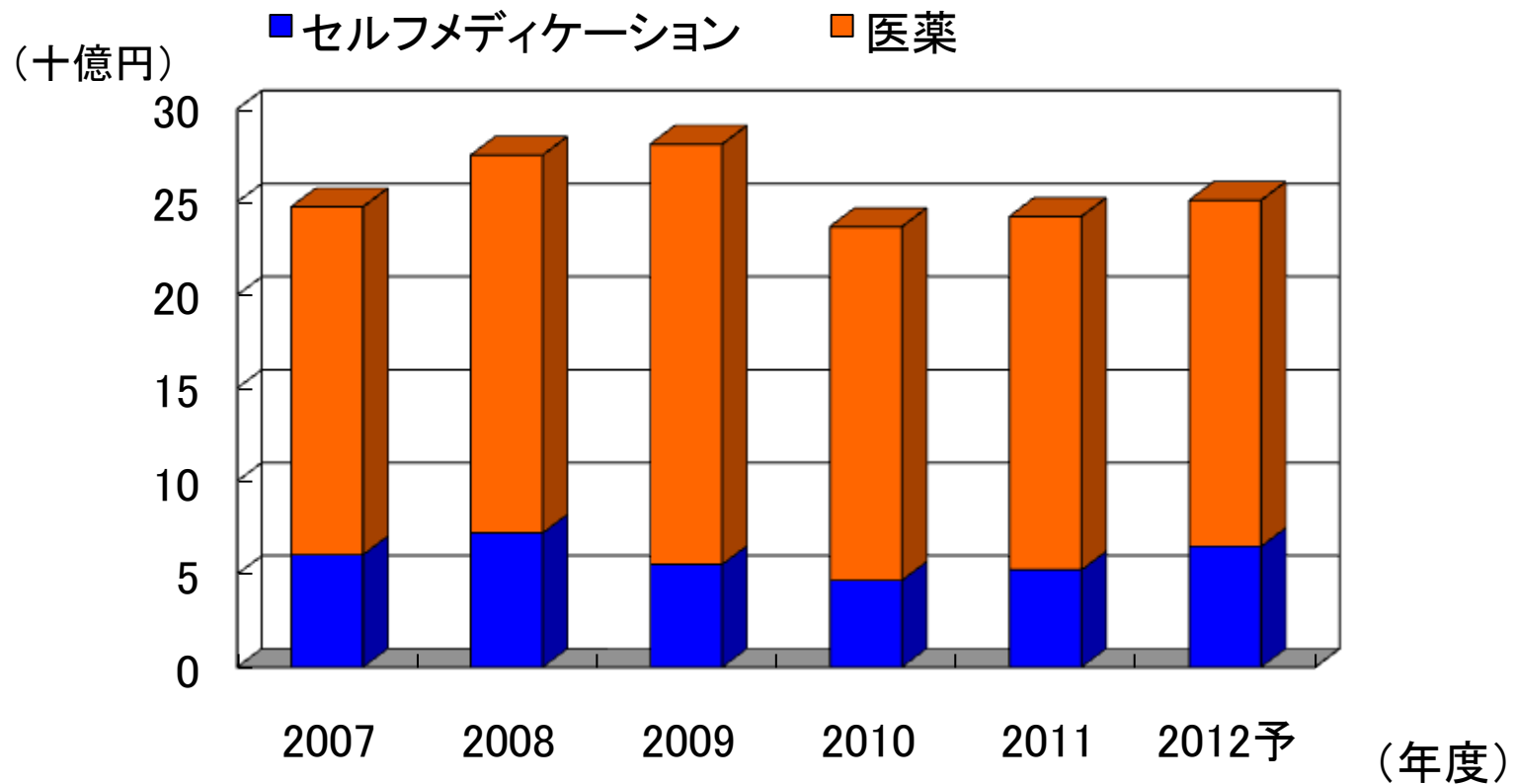
	<u>特長他</u> 予定適応症	開発形態	オリジン
フェーズ3(続き)			
TT-063 (外用)	<u>エスフルルビプロフェン含有消炎鎮痛貼付剤</u> 変形性関節症、肩関節周囲炎、筋肉痛等	トクホン共同	トクホン
フェーズ2			
NT-702 (経口)	<u>気管支拡張作用、細胞浸潤抑制作用</u> 気管支喘息	日産化学 共同	日産化学
NT-702 (経口)	<u>血管拡張作用、血小板凝集抑制作用</u> 閉塞性動脈硬化症に伴う間歇性跛行	日産化学 共同	日産化学
パルクス (注射)	<u>プロスタグランジンE1製剤</u> 腰部脊柱管狭窄症に伴う間歇性跛行 (適応追加)	自社	大正製薬/ 田辺三菱製薬



研究開発費の動向

2012年度2Q実績:115億円(前年同期比+1億円)

2012年度計画:252億円(同+10億円)





配当について

- 2012年度配当(予想): 一株当たり120円
 - 中間配当: 60円/株を12月に実施予定
期末も60円/株を予定
 - ご参考: 2011年度配当: 一株当たり90円*
 - *大正製薬が実施した中間配当金12円を株式移転比率で換算した40円と、期末配当金50円を合計